

基本目標①：子育て・教育・人権

施策 4：生涯学習・生涯スポーツ・文化芸術の推進

施策目標

子どもから大人までが主体的に学び、スポーツに取り組み、生きがいや楽しさを感じながら心身ともに健康に暮らしています。

現状・課題

日常的に趣味やスポーツ、レクリエーション等の活動をし、文化芸術に親しみ、生涯にわたって学び続けることは、心豊かで生きがいのある充実した生活を生涯にわたって送るために必要です。

学習やスポーツの機会はあるものの、参加者の固定化が課題となっており、子どもから大人まで年齢や障がいの有無等にかかわらず、幅広い市民の主体的な参加や学びが得られるよう、市民ニーズに沿ったメニューの充実や ICT 等を活用した新たな学習手法の導入、またわかりやすく情報が届くような仕組みづくりが必要となっています。団体やサークルの指導者等の高齢化が進行しており、主体的な活動への参加を通じて、後継者の育成・確保に取り組むことも必要です。

学んだことを発表したり地域で活かせる機会があることで、やりがいや学ぶ意欲が高まり、更なる主体的な活動につながる好循環となるよう取り組みを進める必要があります。

地域が抱える課題について学習成果を活用し、地域活動やボランティア活動をすることは、地域づくりにおいて特に重要です。しかし、実態はまちづくりの課題に取り組むも、人口減少や少子高齢化、近所付き合いの希薄化などによる地域コミュニティの衰退を止めることは難しく、地域の人々のつながりを取り戻すことが課題です。

文化芸術については、鑑賞・創作の両面から、市民が気軽に親しめる機会の提供や環境整備の必要があります。

■市内主要施設利用者数

	(人)						
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
文化ホール	60,393	57,680	62,462	70,930	64,520	65,223	65,208
文化小劇場	18,703	18,499	16,513	21,878	18,683	17,331	17,360
さざなみホール	19,003	21,105	22,497	22,992	25,907	22,985	21,899
総合体育館	110,943	121,886	117,328	114,875	116,707	117,187	115,145
図書館	11,916	11,715	11,516	11,354	11,009	10,544	10,356

(注) 図書館は実利用者数、その他の施設は延べ人数
(資料) 野洲市統計書、野洲市決算書

取組方針

主な取組

① 生涯学習・生涯スポーツの機会の提供
幅広い市民が生涯学習や生涯スポーツに主体的に取り組む機会が増えるよう、市民ニーズや社会的課題に応じたメニューを充実させ、わかりやすく情報を発信します。

生涯学習・スポーツの機会の提供、地域拠点を活用した活動の推進、ホームページ等を使用したわかりやすい情報発信、等

② 生涯学習・生涯スポーツ活動に対する支援
生涯学習・生涯スポーツの活動団体への支援や成果を生かせる機会の充実等により、活動の活性化や活動を担う人材の育成に取り組めます。

文化協会・総合型地域スポーツクラブ等への支援と担い手の育成、活動しやすい環境の整備、等

③ 文化芸術の振興
子どもから大人まで、鑑賞・創作の両面から市民が気軽に文化芸術に親しめる機会の充実を図ります。

文化芸術に親しむ機会の提供、等

指標

関連する市の計画

指標	現状値	目標値 (5年後)
① 主要スポーツ施設の利用者数	252,991 人	276,500 人
② 主要文化施設の利用件数	315 件	360 件
③ 生涯学習出前講座の実施回数	84 回	90 回
④ 図書館の利用者数	10,356 人	11,000 人

(指標のそのものや現状値、目標値等の解説)
① 総合体育館、中主 B&G 海洋センター、市民グラウンド、河川公園、健康スポーツセンターの合計数
(健康スポーツセンターは令和 2 年開所)
② 文化ホール、さざなみホール(会議室除く)、文化小劇場の合計
④ 野洲市民の実利用者数

- 教育振興基本計画
- 生涯学習振興計画
- スポーツ推進計画
- 子どもの読書活動推進計画